

6月の窓口案内

助成や給付、生活上での相談など、市役所で受け付け。今月のお知らせを紹介します。

海外療養費の申請

請求期限は医療費を支払った日の翌日から2年間

問合せ 国民健康保険課 ☎(740)2006

国民健康保険の加入者が、海外渡航中に急病で、やむを得ず治療を受けた場合、同保険の適用を受けられる場合があります(1年以上、日本国外に滞在していた場合は、同保険の資格がなくなります)。帰国後、市役所1階の国民健康保険課で申請してください。申請には、パスポートの提示と現地の医療機関で受け取った、病名や治療内容、支払った医療費の証明書(診療内容・領収明細書)が必要。また、外国語で作成された明細書には翻訳文を添付してください。なお、明細書の様式は、海外渡航の前に同課で受け取ってください。

申請時、申請書の他に、治療を受けた被保険者本人に「調査に関わる同意書」を記入してもらいます。審査後、日本国内の医療機関で治療を受けた場合に適用される金額を限度に保険給付分を支給。申請期限は医療費を支払った日の翌日から2年間です。

外国人などへの特別給付金の支給

すでに支給している人には再申請書を送付

問合せ 障害福祉課 ☎(740)1178
長寿・介護保険課 ☎(740)1174

「川西市外国人等障害者特別給付金」と「川西市外国人等高齢者特別給付金」を支給します。対象と支給額は次の通り(所得制限などあり)。すでに支給している人には、再申請書を送付します。

外国人等障害者特別給付金 対象は障害基礎年金を受けていない、次のいずれかに該当する市民。①外国籍で昭和57年1月1日より前に20歳で、すでに障がいが発生していた②日本国籍で昭和61年4月1日より前の海外滞在中に障がいの初診日がある。

支給額は重度の人が月額8万1,177円、中度の人が月額3万2,471円。詳しくは障害福祉課へ。

外国人等高齢者特別給付金 対象は大正15年4月1日以前に生まれ、次のいずれかに該当する市民。①昭和57年1月1日現在、外国人登録をしている②昭和57年1月1日より前に外国人登録をしていた期間があり、昭和36年4月1日以降に日本国籍を取得した③日本国籍を持ち、長期間海外に滞在し、昭和36年4月1日以降に帰国した。

支給額は月額3万3,274円。詳しくは長寿・介護保険課へ。

国民健康保険税の申告

申告すると保険税が軽減される場合があります

問合せ 国民健康保険課 ☎(740)1170

市国民健康保険に加入している19歳以上(29年4月1日時点)で、住民税の申告や所得税の確定申告をしていない人は、申告すると保険税が軽減される場合があります。なお、昨年申告した人には、2月に市民税・県民税申告書を送付しています。申告がまだの人は、国民健康保険課へ。

“メタボ”リスクの高い人に送付

特定保健指導利用券の利用で生活習慣を改善

問合せ 国民健康保険課 ☎(740)2006

国民健康保険加入者で、特定健診の結果、メタボリックシンドロームのリスクが高い人に対して、健診受診日から2~3カ月後に特定保健指導利用券を送付しています。これは、健診結果や日常生活を振り返り、6カ月後の健康目標を設定し、具体的な生活習慣改善を自ら実践していくものです。同券が届いた人は、ぜひ利用してください。

高額医療費の窓口負担を軽減

限度額適用認定証などの更新

問合せ 国民健康保険課 ☎(740)2006

国民健康保険の加入者で、有効期限が29年7月31日(月)までの「限度額適用認定証」や「限度額適用・標準負担額減額認定証」を持つ人に、更新の案内を送付します。8月1日(火)以降も必要な場合は、手続きしてください。

ただし、同保険税に滞納がある場合や、28年中の所得が未申告の人には送付しません。なお、不要な場合は手続きの必要はありません。

福祉医療受給者証を送付

7月1日からは新しい受給者証を提示

問合せ 医療助成・年金課 ☎(740)1108

7月1日(出)から、福祉医療費受給者証(乳幼児等、こども、高齢期移行、母子家庭等、障がい者)が新しくなります。また、老人医療が高齢期移行医療になります。引き続き受給資格のある人には新しい受給者証を6月下旬に送付。県内の医療機関で受診するときは新しい受給者証と健康保険証を窓口で提示してください。また、加入している健康保険や住所、氏名、扶養義務者などに変更があった場合は、必ず医療助成・年金課医療担当へ届け出てください。

所得が限度額を超過して対象から外れる人には、資格喪失通知を送付。未就学児については、7月から所得制限が撤廃されます。現在、所得制限で受給資格が停止になっている人には、更新の申請書を送ります。なお、「母子家庭等」の医療の対象外となった中学3年生までの子どもで、こども医療の対象になる人には、資格取得に必要な申請書を同封します。

健康分野や市の魅力創造・発信など

4月26日、市役所で宝塚医療大学と「川西市と学校法人平成医療学園宝塚医療大学の連携協力に関する協定」(写真右)、FM802と「川西市と株式会社FM802の連携協力に関する協定」(写真左)の締結式を行いました。

同大学は、理学療法、柔道整復、鍼灸に関するカリキュラムを設け、社会に貢献できる医療・保健のエキスパートを育成。このことから、今後、健康分野などで連携・協力します。また、(株)FM802は、FM802、FMCOOLのラジオ2局で関西一円の広範囲をカバー。多くのリスナーに情報発信していることから、市の魅力創造・発信などで連携・協力していきます。

詳しくは、宝塚医療大学との協定については経営改革課☎(740)1120へ。(株)FM802との協定についてはかわにし魅力推進室☎(740)1121へ。



4月26日
協定締結

官民連携のため協定を締結
宝塚医療大学やFM802と相互に協力

応募期限は6月23日 にぎわい広場の名前を募集

今はまだ名前もなく、その形から「三角地」と呼ばれている広場。阪急・能勢電鉄「川西能勢口」駅東出口から北へ徒歩1分の場所にあります。同広場では能勢口駅東側の「にぎわい」を創出するため、たくさんのイベントが開催される予定です。

皆さんに愛される、にぎわいの拠点としてふさわしい、すてきな名前を募集します。期限は6月23日(金)。採用された人の中から1人に市の特産品をプレゼントします。詳しくは市ホームページ(ID番号K21505でサイト内検索)に掲載。



問合せ 産業振興課 ☎(740)1162

イベントやグルメが盛りだくさん 郷土館で東谷ズムを開催

大正期に最も華やかな時代を迎えた東谷のまちを再現しようと毎年実施されている「東谷ズム」。

6月4日(日)午前10時~午後5時、郷土館とその周辺を会場に開催(雨天決行、入館料不要)されます。東谷歴史講談や音楽ライブ、郷土館ロケ地パネル展示、獅子山の城跡ハイク、殺陣パフォーマンス、お寺ヨガなどのイベントの他、グルメ・雑貨が並ぶ「サトヤマルシェ」や新鮮野菜即売会なども開催。また、大正風衣装で来場した先着100人には「すずちゃん御守」を進呈します。



問合せ 郷土館 ☎(794)3354